

まるかる

あきた国際フェスティバルを開催！

10月2日、秋田県国際交流協会と共催で、「あきた国際フェスティバル」を秋田拠点センターアルヴェで開催しました。秋田市は姉妹都市等を紹介するブースのほか、姉妹都市の景色が楽しめるフォトジェニックコーナー、写真展を設置しました。このイベントには、35名の秋田市内の高校生が運営ボランティアとして参加。身振り手振りを交えて会話を盛り上げてくれました。また、国際教養大学の留学生も、自国の文化をアピールしました。



←秋田市の姉妹都市等を
紹介する高校生ボランティア



ドイツ・パッサウ市出身 ルーカスさん

あきた国際フェスティバルでの一日は、日本人、外国人の両方と触れあうことができる素晴らしい機会でした。このイベントは秋田市の国際的な思いを表現しており、私にとって、素晴らしい文化体験にほかなりません。



中国蘭州市と友好都市提携40周年記念式典を行いました

今年、友好都市提携40周年を迎えた中国蘭州市と、10月11日にオンラインで記念式典を行いました。式典では、3年ごとに締結している友好交流合意書と、蘭州市内5つの病院と市立秋田総合病院の病院間協定の2つを取り交わしました。平成21年に2か月間市立秋田総合病院で研修を行った、蘭州市第二人民病院謝峰副院長と、受入時に担当した市立秋田総合病院の小松眞史副理事長が、互いに思い出を振り返りながら、祝辞を述べました。



←穂積市長と張偉文市長



↓伊藤誠司院長と5病院院長



在札幌米国首席領事が秋田市長を表敬訪問しました

11月18日、在札幌米国総領事館マーク・ウェベルス首席領事が、着任挨拶のため、秋田市長を表敬訪問しました。表敬訪問には、ALTとして市内の小中学校に勤務する、スティーブン先生、マルタ先生にも同席いただき、秋田市での生活についてお話していただきました。首席領事自身もALTとして、日本に赴任した経験があり、2名の先生にエールを送っていました。また、首席領事は民俗芸能伝承館も視察され、本市の文化への理解を深めていました。



穂積市長を表敬訪問



左からスティーブン先生、穂積市長、首席領事、マルタ先生



竿燈体験をする首席領事

国際平和講演会を開催しました

10月15日、秋田テルサにて、戦場カメラマンの渡部陽一さんが、市内小・中学生親子を対象に、講話を行いました。また、同会場および秋田市役所本庁舎内で、渡部さんの写真展も同時開催しました。渡部さんはウクライナにも取材に行っています。渡部さんは、「戦争が起こらないようにするために何ができるか考え、自分の関心があることを通じて、世界と繋がってほしい。」と話していました。ウクライナ情勢により、平和への関心が高まっている中、これからの日本を担う子どもたちにとって、平和とはなにかを考え、戦争の恐ろしさを知る機会となりました。



真剣に講演を聞く
小・中学生親子



参加者からの質問に
答える渡部さん



渡部さんが紛争地域で
撮影した写真を展示

～「まるかる」への思い～

“Multiculture”のマルとカルに、秋田市に住む外国人も秋田市民の一員として、互いに手を取り、繋がって「まる(丸)」を作ること、お互いが理解し合い、心が「かる(軽)」くなる様子を、タイトルの丸みを帯びたフォントで表現しています。

次号の発行は令和5年3月31日です！皆さんよいお年をお迎えください。

お問い合わせ：秋田市企画財政部企画調整課 国際・都市間交流担当

TEL：018-888-5464 / FAX：018-888-5488

秋田市公式HP→

編集協力：秋田市姉妹都市フォーラム

